

(様式 1-3)

大船渡市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

令和元年 6 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	29	事業名	災害復興型地域優良賃貸住宅整備事業	事業番号	D-4-7
交付団体	県		事業実施主体 (直接/間接)	県	
総交付対象事業費	75,000 (千円)		全体事業費	0 (千円)	
事業概要					
<p>住宅を滅失した被災者を入居対象とする災害復興型地域優良賃貸住宅を整備する民間事業者等に対し、建設費等の一部を補助し、建設支援を行うことにより、優良な賃貸住宅の供給を促進し、被災者の生活再建を支援するものである。</p> <p>【岩手県東日本大震災津波復興計画 復興実施計画】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・災害復興公営住宅等整備事業</li></ul> <p>東日本大震災津波により住宅を失った被災者の居住の安定を図るため、被災者用の恒久的な住宅を供給</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (令和元年 5 月 10 日)</p> <p>事業廃止により事業費が減額したため、陸前高田市 D-1-2 まちづくり連携道路整備事業 ((仮) 今泉大橋) へ 75,000 千円 (国費 : H23 繰越予算 65,625 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 75,000 千円 (国費 : 65,625 千円) から 0 千円 (国費 : 0 千円) に減額。</p>					
当面の事業概要					
<p>&lt;平成 24 年度&gt;</p> <p>民間賃貸住宅建設促進</p> <p>&lt;平成 25 年度&gt;</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>・東日本大震災津波により住宅を失った被災者の居住の安定を図るため、民間事業者が災害復興型地域優良賃貸住宅を建設する場合の支援を行う。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					
なし					
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					

(様式 1-3)

大船渡市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

令和元年 6 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	49	事業名	まちづくり連携道路整備事業 (主) 大船渡広田陸前高田線 船河原	事業番号	D-1-7
交付団体		県	事業実施主体 (直接/間接)	県	
総交付対象事業費		<del>2,537,638 (千円)</del> 3,484,834 (千円)	全体事業費	<del>4,346,000 (千円)</del> 5,401,000 (千円)	
事業概要					
<p>東日本大震災津波により壊滅的な被害を受けた末崎町船河原地区と小細浦地区の市街地を結ぶ幹線道路となる(主)大船渡広田陸前高田線(船河原)の道路整備を行う。</p> <p>(主)大船渡広田陸前高田線(船河原)は、国道45号と小細浦地区を結ぶ主要道路であるとともに、沿線にはJR大船渡線細浦駅が立地するなど当地区の生活道路としても重要な路線である。</p> <p>今回の津波により、細浦地区の多数の家屋が流失するなどの被害が生じたことから、高台移転などとあわせて浸水区域を回避する延長2.2kmの2車線道路を整備するものである。</p> <p>現状は、平成27年度に用地取得に着手、平成28年度に工事着手し、平成30年度末までに用地取得、その1工区の道路改良が完了。今年度は、その2工区の函渠工、道路改良の完成を予定している。その3工区の函渠工2基、道路改良についても進めており、平成32年度の完了に向けて関係機関と調整し整備を進める予定である。</p> <p>【岩手県東日本大震災津波復興計画 復興実施計画】P16 ・多重防災型まちづくり推進事業(まちづくり連携道路整備事業) 道路機能の向上を図るため、津波により浸水した道路について、市町村の復興まちづくりと一体となった整備を実施</p> <p>(事業間流用による経費の変更)(平成29年1月19日) 当初事業費算出時の空中写真測量と現地測量の結果の差異による道路線形の見直しと、単価上昇から工事費が増額したため、D-4-5 災害公営住宅整備事業(末崎)より244,679千円(国費:H23 補正予算201,860千円)、D-4-6 災害公営住宅整備事業(綾里)より34,974千円(国費:H23 繰越予算28,854千円)、◆D-1-5-1 まちづくり連携道路整備事業(道路)より34,916千円(国費:H23 補正予算28,806千円)、◆D-1-5-2 まちづくり連携道路整備事業(街路)より、117,793千円(国費:H23 補正予算97,179千円)を流用。これにより、交付対象事業費は2,537,638千円(国費:2,093,551千円)から2,970,000千円(国費:2,450,250千円)に増額。</p> <p>(事業間流用による経費の変更)(平成30年10月10日) H31年度執行分として、D-1-5 まちづくり連携道路整備事業((主)大船渡綾里三陸線 越喜来)より40,580千円(国費:33,479千円)、D-1-6 まちづくり連携道路整備事業((一)崎浜港線 越喜来)より26,336千円(国費:21,727千円)、洋野町D-1-1 まちづくり連携道路整備事業(八木)より118,916千円(国費:98,106千円)、宮古市D-1-1 まちづくり連携道路整備事業(鍛ヶ崎)より70,577千円(国費:58,226千円)、宮古市D-1-5 まちづくり連携道路整備事業(千鷲)より28,081千円(国費:23,167千円)、釜石市D-1-5 まちづくり連携道路整備事業(下荒川の2)より54,393千円(国費:44,874千円)、陸前高田市D-1-1 まちづくり連携道路整備事業(小友)より161,117千円(国費:132,921千円)を流用。これにより、交付対象事業費は2,970,000千円(国費:2,450,250千円)から3,470,000千円(国費:2,862,750千円)に増額。</p>					
当面の事業概要					
<p>&lt;平成26年度&gt;測量設計等 &lt;平成27年度&gt;測量設計等 用地補償 &lt;平成28年度&gt;用地補償 工事等 &lt;平成29年度~32年度&gt;用地補償 工事等</p>					

東日本大震災の被害との関係
---------------

・東日本大震災津波により被害を受けた船河原地区において、大船渡市の復興まちづくりと一体となった道路整備を行うことにより、安全で安心な防災都市・地域づくりを推進する。
--

関連する災害復旧事業の概要
---------------

なし
----

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業
----------

事業番号	
------	--

事業名	
-----	--

交付団体	
------	--

基幹事業との関連性
-----------

--

(様式 1-3)

大船渡市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

令和元年 6 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	124	事業名	まちづくり連携道路整備事業 (主) 大船渡綾里三陸線 赤崎	事業番号	D-1-25
交付団体	岩手県		事業実施主体 (直接/間接)	岩手県 (直接)	
総交付対象事業費	<del>6,167,000 (千円)</del> 7,160,000 (千円)		全体事業費	<del>7,103,000 (千円)</del> 8,096,000 (千円)	

事業概要

東日本大震災津波により壊滅的な被害を受けた赤崎地区のまちづくりと一体的に整備し、半島各集落の孤立解消に寄与する (主) 大船渡綾里三陸線 (赤崎) の道路整備を行う。

(主) 大船渡綾里三陸線 (赤崎) は、大船渡市中心部と蛸ノ浦漁港などを結ぶ主要道路であるとともに、沿線には小中学校が立地するなど当地区の生活道路としても重要な路線である。

今回の津波により、赤崎地区の多数の家屋が流失するなどの被害が生じたことから、高台移転や公共施設の移転などとあわせて浸水区域を回避する延長 4.1 km の 2 車線道路を整備するものである。

平成 26 年度に用地取得着手、平成 27 年度に工事着手し、平成 30 年度末までに事業地内の用地買収及び主要構造物の 1 工区函渠工、2 工区橋梁工、函渠工 (アーチカルバート) の施工が完了している。今年度は、残る 3、4、5 工区の函渠工の完成を予定している。道路改良についても、2、3 工区を中心に進めており、平成 32 年度の完了に向けて関係機関と調整し整備を進めている。

【岩手県東日本大震災津波復興計画 復興実施計画】P16

・多重防災型まちづくり推進事業 (まちづくり連携道路整備事業)

道路機能の向上を図るため、津波により浸水した道路について、市町村の復興まちづくりと一体となった整備を実施。

(事業間流用による経費の変更) (平成 29 年 1 月 19 日)

切土法面の崩壊が発生し対策工を施す必要があることから、工事費が増額したため、D-4-5 災害公営住宅整備事業 (末崎) より 86,000 千円 (国費: H23 補正予算 70,950 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 6,167,000 千円 (国費: 5,087,775 千円) から 6,253,000 千円 (国費: 5,158,725 千円) に増額。

(事業間流用による経費の変更) (平成 30 年 10 月 10 日)

H31 年度執行分として、陸前高田市 D-1-1 まちづくり連携道路整備事業 (小友) より、97,000 千円 (国費: 80,025 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 6,253,000 千円 (国費: 5,158,725 千円) から 6,350,000 千円 (国費: 5,238,750 千円) に増額。

当面の事業概要

<平成 26 年度> 測量設計 用地補償等  
<平成 27 年度> 測量設計 用地補償 工事等  
<平成 28 年度> 用地補償 工事等  
<平成 29 年度> 工事等  
<平成 30 年度> 工事等  
<平成 31 年度~平成 32 年度> 工事等

東日本大震災の被害との関係

東日本大震災津波により被害を受けた赤崎地区において、大船渡市の復興まちづくりと一体となった道路整備を行うことにより、安全で安心な防災都市・地域づくりを推進する。

関連する災害復旧事業の概要

なし

※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。

関連する基幹事業

事業番号	
事業名	

交付団体	
基幹事業との関連性	